

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	HiSCO-06-A試験 胃がん肝転移症例(同時性・異時性)に対する術前化学療法後の肝切除の有効性と安全性を評価する第Ⅱ相試験
研究責任者 (所属科名)	外科医長・診療部長 坂下 吉弘
本研究の目的・意義	目的:胃がん肝転移症例(同時性、異時性)に対して化学療法を先行して行い、治癒切除が可能であると診断された場合に肝転移巣および胃原発巣切除を行うこととし、肝転移巣切除後の3年無再発生存率、全生存期間、治癒切除(R0切除)割合、肝切除の安全性、(術中・術後の合併症発生割合)、無再発生存率期間をもとに予後因子解析を行い肝切除を含めた外科切除の適応基準を検証します。 意義:ほかに非治癒因子を有さない肝転移を有する初発進行胃癌もしくはほかに非治癒因子を有さない肝転移再発をきたした胃癌術後患者に対する化学療法に加えて外科的切除を行うことを検証します。
研究予定期間	委員会承認後～2021年12月31日
該当資料・データ	対象となる患者さま:ほかに非治癒因子を有さない肝転移を有する初発進行胃癌もしくはほかに非治癒因子を有さない肝転移再発をきたした胃癌術後患者さま 利用する情報:電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみ扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公表する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	呉医療センター、中国がんセンター
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:082-292-1271 担当者:坂下 吉弘(外科)